

2019 年 9 月 15（日）～16（月） 八方尾根～五竜岳～遠見尾根（北アルプス）

メンバー：T s u ・ K（会員外）

【15 日】

三連休の 2 日目、駐車場が込むことを予想して五竜エスカルプラザ P に車デポ。予約しておいたタクシーで八方ゴンドラアダム乗り場へ移動。正解だった。6:30 始発のゴンドラチケット売り場は長蛇の列。友人のジロー山岳保険のお蔭で片道でも割引で乗れた。モンベルカードは往復のみ割引だった。

ゴンドラ・リフトを乗り継ぎ、労せずして八方池山荘着。快晴。すでに目の前は登山者の行列。やはり 3 連休の中日である。水面に白馬三山を映し出す八方池の眺めは相変わらず美しい。

つい写真を撮るのに夢中になり長居をしそうになる。唐松岳への稜線まで登りも下りも人が多く擦れ違いに時間を要した。稜線から間もなく小屋かと思っていたがなんか景色が違う。「こんな登山道だったっけ？」結構急な岩場を登りたどり着いた先は小屋の上。登山道が付け替えられていた。目の前に陰しい岩肌の剣岳、右手に唐松岳。左手に五竜岳。素晴らしいロケーションに感激。昼食後、唐松岳頂上山荘に下りトイレを借りるもなんと¥300、小屋は泊り客でゴった返していた。小屋から唐松岳まではアリの行列のごとく続いていて唐松岳の人気の程に驚く他無い。

既に 2 人共登っているので唐松岳はパスして五竜岳への縦走路に入る。すぐに切り絶った岩場の「牛首」で鎖の岩場を慎重に下る。鎖も岩もしっかりしており安心したが大黒岳までは気の抜けない岩場が続き緊張の連続であった。白岳までへの登山道は岩場も無くガレ場と樹林帯、ハイ松の道となり気は楽になったが思ったより時間がかかった。ハイマツ地帯で心待ちにしていた雷鳥に出会う。ラッキー！カメラを用意している間に遠ざかりかろうじてシャッターを押す。何とか撮れた。途中で何組か唐松へ向かうグループとすれ違うが、いずれも唐松山荘にテントを張ってきておりピストンで戻る所だと言う。五竜山荘のテント場が狭く張れないのだとか。こんな時間に唐松まで戻るの？！大変だね。戻る頃には暗くなりそう・・・程なく五竜山荘に到着。

2 人で 1 つの布団と言われたが、ラッキーなことに女性 12 人の部屋で押入れの上下段と布団が 3 枚余っており、窮屈な思いをせずに寝ることができた。居合わせた女性メンバーはツワモノ揃い。爺ヶ岳～鹿島槍と縦走してきた 2 組。60 歳で登山始めたのにジャンダルム 2 回行った人。3 大キレットを制覇した人。塩見岳を日帰り 13 時間歩いた人。などなど。う～ん。まだまだ限界定めず頑張ろうっと！

【16 日】

朝食 4:30。快晴。サブザックで 5:30 出発。五竜岳山頂までは急なガレ場の後、岩登りとなるがペンキ印がしっかりしており鎖にもそれほど頼らずに山頂に着く。結構広く、南の鹿島槍、北の唐松岳、目の前に剣岳。圧巻！！感激である。山頂には数組いた程度で静か、登頂の感激を噛みしめる。

五竜山荘へ戻り支度を整えて遠見尾根へと下山開始。とは言っても分岐までは登りである。分岐からは鎖場となり急な岩場を下り、登りかえすと西遠見山に。まもなく池塘が現れ大遠見山へ登りとなる。ここで少しポツポツ雨滴が当たりカッパの上とザックカバーをする。崩れるのは午後と思っていたが 10 時前に降られるのは予想外であわてる。大遠見山から 2 年前の 5 月に観たカクネ里雪渓を眺める。雪渓は上部に大きく確認できたが下部は解けてかなり縮小。温暖化の影響でいずれは消えてしまうのかも。大遠見山を下るとまもなく樹林帯へ入り雨も一瞬で止んだ。カッパを脱ぎ中遠見山、

小遠見山とアップダウンを繰り返し、高山植物園にたどり着いた頃には濃霧に覆われ、沢山咲いている花も霞んでいてゴンドラ乗り場が分からない位だった。

2か月前に捻挫、肉離れをした足を気遣いながらのゆっくり下山であった。何度もアップダウンを繰り返す結構きついコースだと思った。

唐松～五竜山荘までの岩場は緊張したけどスリルもあって楽しめたかな？！

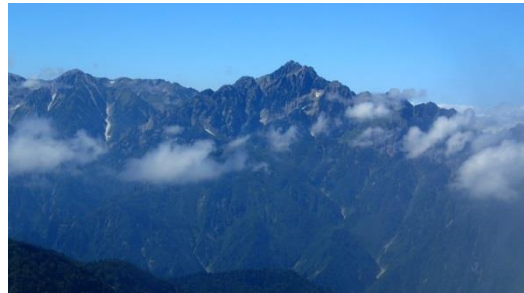
【コースタイム】 15日：晴れのち曇り 16日：晴れのち曇り・ガス

15(日) 06:00 五竜エスカルプラザP(車デポ)～(タクシーで移動)～6:20 八方尾根スキー場
ゴンドラアダム+リフト～八方池山荘 7:25～八方山～八方池～11:00 唐松岳頂上山荘
昼食・大休憩 11:45～白岳～14:45 五竜山荘 (泊)

16(月) 小屋出発 5:30～6:30 五竜岳山頂 6:50～五竜山荘出発 7:45～西遠見山～
大遠見山～中遠見山～小遠見山～アルプス平～テレキャビン～
12:45 五竜エスカルプラザP



白馬三山が写り込む八方池



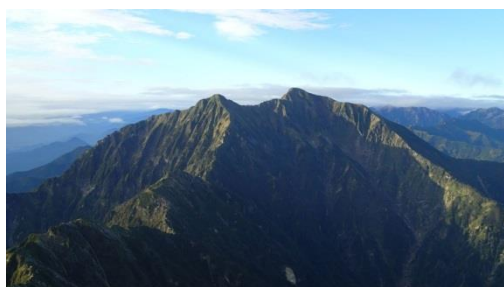
唐松からの劔岳



唐松岳をバックにはい。チーズ！



ハイマツ帯で出会った雷鳥



五竜岳から見る鹿島槍



五竜岳



遠見尾根



遠見尾根の紅葉



沢山の花が咲いていて目を楽しませてくれた。特にリンドウとマツムシソウ、トリカブトの鮮やかなブルーが印象的だった。